

平成 2 1 年度第 4 回看護学部教授会（定例）議事録

開催場所	大会議室	開催日時	平成 2 1 年 9 月 2 日（水）16:00～19:00
出席者	(学部長) 桑名佳代子 (教 授) 安齋由貴子, 遠藤芳子, 小野幸子, 塩野悦子, 関戸好子, 武田淳子, 土屋香代子, 徳永恵子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 真覚健, 宮林幸江, 山田嘉明, 吉田俊子 (准教授) 桂晶子, 荻部明彦, 佐々木久美子, 高橋和子, 高橋方子, 原玲子, 萩原潤, 山岸利次 (講 師) 鹿野裕美, 竹本由香里, 只浦寛子 (助 教) 阿部智美, 阿部桃子, 井口巴, 岩岡美樹, 大池真樹, 大須賀ゆか, 大沼珠美, 小野寿江, 小山妙子, 澤口利絵, 菅原亜希, 鈴木敦子, 相馬衣都, 田中美江, 長岡芳久, 平尾由美子, 松尾尚美, 山田志枝, 渡邊志乃 (5 2 名中出席者 4 5 名) <div style="text-align: right;">事務局 中村課長, 佐々木GL, 大津</div>		
欠席者	伊藤ひろ子, 弓谷行宏, John Wiltshier, 北岡晃子, 阿部幹佳, 佐藤憲子, 西村亜希子		(職位別 5 0 音順, 敬称略)
署名人			
議 事 内 容			
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 教授会議事録（7 月定例教授会）の確認及び議事録署名人の指名について 7 月 1 日に開催された第 3 回教授会の議事録の確認について諮られ, 了承された。続いて議事録署名人として遠藤芳子教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>① 平成 2 1 年度前期成績判定について ・原案のとおり承認された。 なお, 1 年生 5 名が不可となった化学概論の履修方法について担当教員と調整が必要であるとの意見があった。</p> <p>② 平成 2 1 年度前期科目等履修生の成績判定について ・原案のとおり承認された。</p> <p>③ 学生の身分について ・原案のとおり承認された。</p> <p>④ 看護学部内規について ・「宮城大学看護学部紀要執筆要項」について, 原稿作成に「ワープロソフトを用いること」としたこと等の説明がなされ, 審議されたところ, 研究・紀要委員会で確認し, その結果は運営会議に審議を一任することとされた。</p> <p>⑤ 学部各委員会提出事項について [教務委員会] ・専任教員の新規科目担当に関する申し合わせについて 自己申告書の提出及び教務委員会における審査等について, 再度教務委員会で検討することとされた。 ・新規科目担当者の審査について ライフステージ看護学概論 I の老年看護学の担当教員について, 宮林教授に代わり小野教授が担当することについて諮られ, 原案のとおり承認された。</p> <p>⑥ 人事について ○○○○領域の○○○○から平成 2 2 年 3 月末での退職願いが提出されていることに伴い, 選考委員会委員について教員人事規程に基づく単記無記名投票を行った結果, ○○○○, ○○○○, ○○○○, ○○○○, 及び○○○○の 5 名が選出された。</p> <p>⑦ その他 特になし</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>① 教育研究審議会報告 ・第 5 回教育研究審議会 [審議事項] 宮城大学研究倫理規程（案）について, 一部修正があり最終的には第 8 回理事会で決定されていることの報告がなされた。</p>			

	<p>[報告事項]</p> <p>理事長・学長報告及び学内委員会等報告の内容について報告がなされた。第49回大学英語教育学会（JACET）全国大会が平成22年9月に本学を会場に開催されることについては、演習室で基礎看護実習のグループワークを行うため、演習室使用の調整が必要であることの見解があり、後日検討することとされた。</p> <p>② 運営会議報告</p> <p>第7回から9回まで運営会議が開催されたこと、第8回運営会議について、平成22年度非常勤講師への対応（案）については現在見込み額を算定中であること、第9回運営会議について、審議事項から、①平成21年度中期計画・年度計画の進行管理、②専門委員会の構成について、報告事項から、①領域別実習における新型インフルエンザへの対応について報告がなされた。</p> <p>③ 看護学研究科博士課程設置準備委員会報告</p> <p>看護学研究科博士課程設置については、5月に文部科学省に申請していたところ、8月5日に同省から審査意見の伝達があり、9月1日に補正申請を行い10月中旬に審査結果の連絡がある予定であること等の報告がなされた。</p> <p>なお、現在公募している看護学部教員募集について、看護学研究科博士課程設置準備委員会と看護学部で調整しながら対応することとされた。</p> <p>④ 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会第一次報告について</p> <p>保健師教育については各大学による選択制が導入されることとなり、教育課程の在り方について大学が主体的に判断することとなること、カリキュラムを総点検すること、検討会においても、今後「新たな看護学基礎カリキュラム」の具体的な内容や質の保証等について検討すること、及びこのことに関連し保健師助産師看護師法改正の動きがあること等の報告がなされ、本学においては今後専門科目担当者会議、教務委員会等、様々な形で議論をしていく必要があることの説明がなされた。</p> <p>⑤ 学部各委員会報告</p> <p>[教務委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①後期履修登録に係るスケジュールと登録の方法、②後期時間割に係るライフステージ看護学概論の担当教員の変更、看護援助技術論Ⅰ等の教室の変更、英語Ⅱの教員及び教室が未定部分については共通教育委員会において今後決定すること、③平成21年度後期授業について、月曜日と金曜日については他の曜日に補講日を設けていること、④基礎ゼミのアンケート集計結果、⑤平成22年度カリキュラムについて、教職実践演習が当初4年前期配当予定であったが、文部科学省の指導方針により4年後期に行うこととなったこと、これに伴いシラバスに変更があったこと、及び卒業研究、国家試験に影響のないよう集中講義等、授業の方法等を検討すること、⑥卒業研究に係る支出に関し、予算財政委員会から周知されているが、今後予算執行に関しては教務委員会から周知すること、⑦平成21年度後期科目履修生については応募がなかったこと、⑧平成22年度からカリキュラムに追加となる災害活動論、災害看護支援論、実践看護英語演習については、卒業要件に関わらない選択科目であるため、今後理事会等で承認された後に文科省へ届出となること、以上について報告がなされた。 <p>なお、⑤教育実践演習が4年後期に配当されることについて、時期的に編入生の領域別実習と重複すること、及びその後の卒業研究への負担といった懸念があり4年後期に配当することの是非について意見があったが、文部科学省の指導事項のため他の年次、時期に配当できないことから、今後編入生の養護教諭資格取得の可否を含めて検討を行うこととされた。</p> <p>[キャリア開発委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年生の進路相談体制について、相談窓口担当教員及び担当する学生の割当について報告があり、卒業研究担当教員との連携の必要性についての説明がなされた。 <p>[入学試験委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①編入学者選抜試験実施要領、②AO入試社会人枠の1次選考について、説明がなされた。 <p>[予算財政委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習時使用のマスク購入費等、計253,176円について、運営会議の承認を得た上で看護学部留保予算から執行したことの報告がなされた。 <p>[広報委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度宮城大学看護学部公開講座について、2回が予定されており、10月18日については、塩野教授による講座で既に地域連携センター運営委員会において承認済みであり、2月13・14日中塚教授による講座については、9月の同センター運営委員会において審議予定であること等の報告がなされた。 <p>[実習委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度における看護学実習の期間について報告がなされた。 <p>⑥ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
--	---

(4) その他

・ 平成22年度設備補助金要求について

学生満足度調査結果を踏まえ、各学部からの数値データを集約し11月に宮城県に教室整備の予算を要求することとなっていること、このため現状を各領域に照会した結果、看護学部として「3階に2～4の演習室が必要」との結論となったこと、そのほか在宅看護領域及び学校看護担当から各種ラボの設置の要望がそれぞれあったこと、研究室について空きがない状況であること、看護学研究科においても博士課程設置に向け演習室が不足すること、以上について理事長室ミーティングに提出することの報告がなされた。

以上

議事録署名人

氏名 桑名佳代子 印

氏名 関戸 好子 印